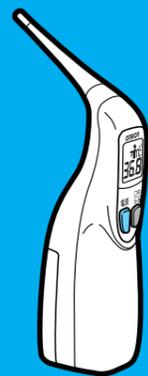


# オムロン 電子体温計 MC-610

## 取扱説明書

医療用具許可番号24BY0001

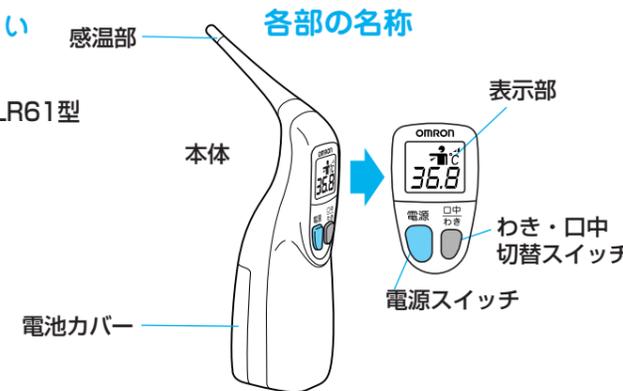


- このたびは、オムロン電子体温計をお買い上げいただきましてありがとうございました。
- 安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 本書はいつもお手元においてご使用ください。
- 本書は品質保証書を兼ねていますので、紛失しないように保管してください。



### 商品の内容と各部の名称

- 商品を確認してください
- 感温部
  - 本体
  - アルカリマンガン乾電池6LR61型
  - ソフトケース
  - 取扱説明書 (品質保証書付き)



### 表示の説明

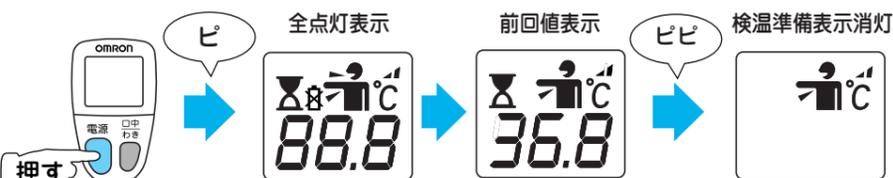
- 検温準備表示  
検温準備ができると消灯します。
- 電池交換表示  
点灯、点滅で電池交換をお知らせします。
- わき・口中表示  
検温部位を表示します。  
わき 口中
- 予測表示  
予測検温であることを示します。

# 検温のしかた

この体温計は予測検温・実測検温の2通りの方法で検温できます。

※はじめてお使いになるときは「電池の入れ方と交換」を参照して電池を入れてください。

## 1 電源スイッチを押して、電源を入れます。



※検温準備表示 が消灯するまでお待ちください。  
※初めてお使いになるときでも前回値表示が出る場合がありますが、工場出荷時の検査結果を記憶しているもので故障ではありません。

検温の準備ができました。

## 2 わき・口中切替スイッチを押して、検温する部位を選びます。



## 3 感温部を、選んだ部位にあてます。感温部が体温を感知すると自動的に検温を開始します。

### わき(腋下)

感温部をわきの中央に下からあてて密着させ、わきを閉じて、本体を手でささえます。

- ※検温前にわきの下の汗をよく拭いてください。
- ※検温中は体温計を動かさないようにしてください。



### 口中(舌下)

感温部を舌の裏側のつけ根側に入れ、舌で密着させ口を閉じて、本体を手でささえます。

- ※検温中は体温計を動かさないようにしてください。



## 4 約5秒後に「ピー」と鳴ったら、体温計を取り出します。

予測検温の結果を表示します。  
予測検温終了です。



## 5 電源スイッチを押して、電源を切ります。

電源を切り忘れても、約3分後に自動的に電源が切れます (実測検温をしない場合)。



くりかえし検温するとき | 次回の検温との間に1分以上の間隔をおいてからご使用ください。

より正確な体温管理が必要なときは、実測検温してください。

1 予測検温終了後もそのまま検温を続けてください。約1分後に「ピー」と鳴り、自動的に実測検温に入ります。実測検温に入ると予測表示 が消え、°Cマークとわき・口中表示が点滅します。  
※予測検温終了後、本体を取り出したときは「ピー」と鳴ったら、ただちに検温を開始してください。



2 わきの場合約10分間、口中の場合約5分間検温します。検温中に温度上昇が少なくなると (0.075°C/30秒以下になると)「ピー」と鳴り、°Cマークが点灯に変わりますが、より正確に検温したいときは、そのまま検温を続けてください。

3 「ピー」と鳴ったら、体温計を取り出します。実測検温の結果を表示します。

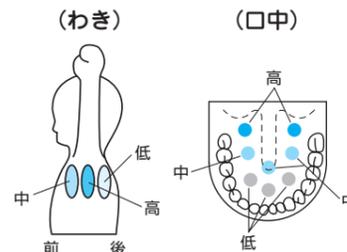
4 電源を切ります。電源を切り忘れても、約1分後に自動的に電源が切れます。

### 正確に検温するために

● 運動・入浴・食事の後は、体温が高くなっています。30分ほど検温を避けてください。

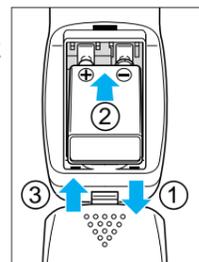
● 検温部位や検温ポイントで温度差があります。

わきと口中では、体温に0.2°C~0.5°Cの温度差があります。同じ部位でも、検温ポイントによって温度差があるために、検温値は必ずしも同じではありません。正確な検温のためには、いつも温度の高い検温ポイントで検温してください。体温は、右図のように検温ポイントによって異なります。



### 電池の入れ方と交換

- ① 電池カバーをスライドさせながら、本体からはずします。
- ② 電池の (+) (-) を確認して、端子が本体の金具に接するように取り付けます。
- ③ 電池カバーをスライドさせながら、もとどおりにします。



下記の表示がでたら電池交換してください。

- 電池の残りが少なくなりました。早めの交換をおすすめします。
  - 電池の残りがありません。新しい電池と交換してください。
- ※長期間 (3カ月以上) 使用しないときは、電池を取り出しておいてください。  
※使用済みの電池の廃棄方法は、お住まいの市区町村の方法に従ってください。

### お手入れと保管

検温が終わったら、お手入れをして保管してください。

#### ■お手入れ方法

本体の汚れは柔らかい乾燥した布で軽く拭いてください。  
※水洗いや、研磨剤入りのクリーナー、シンナー、ベンジンの使用は絶対にしないでください。

#### ■保管するとき

お手入れが終わったら、ソフトケースに入れて保管してください。  
※直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、ほこりの多い場所、火気の近く、振動衝撃の加わりやすい場所には保管しないでください。

